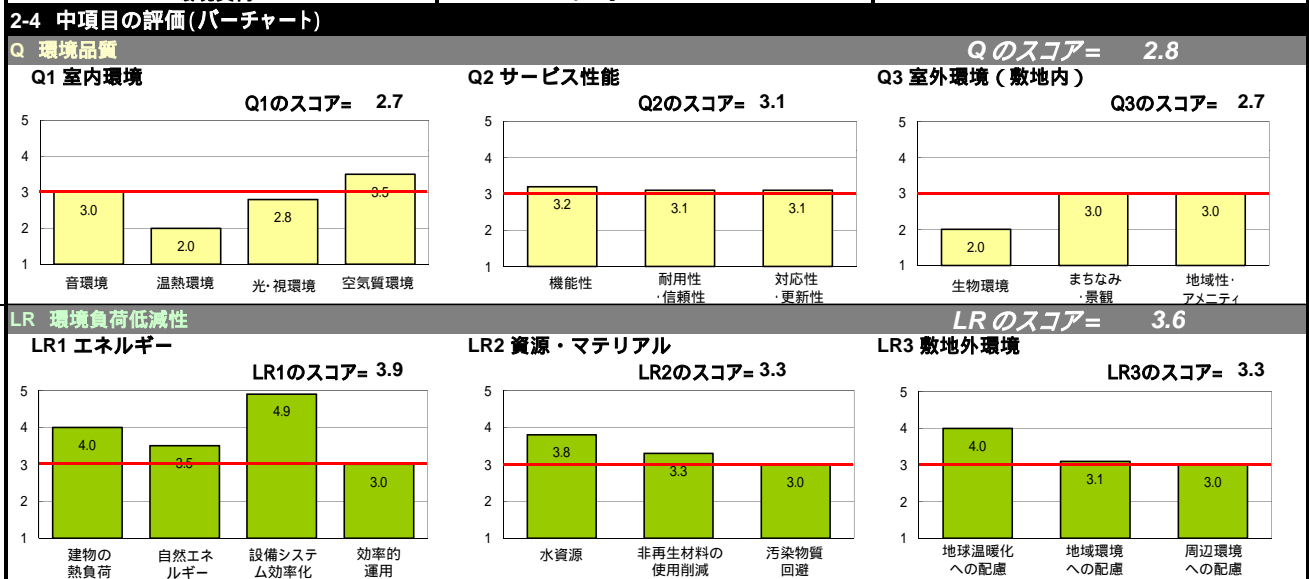
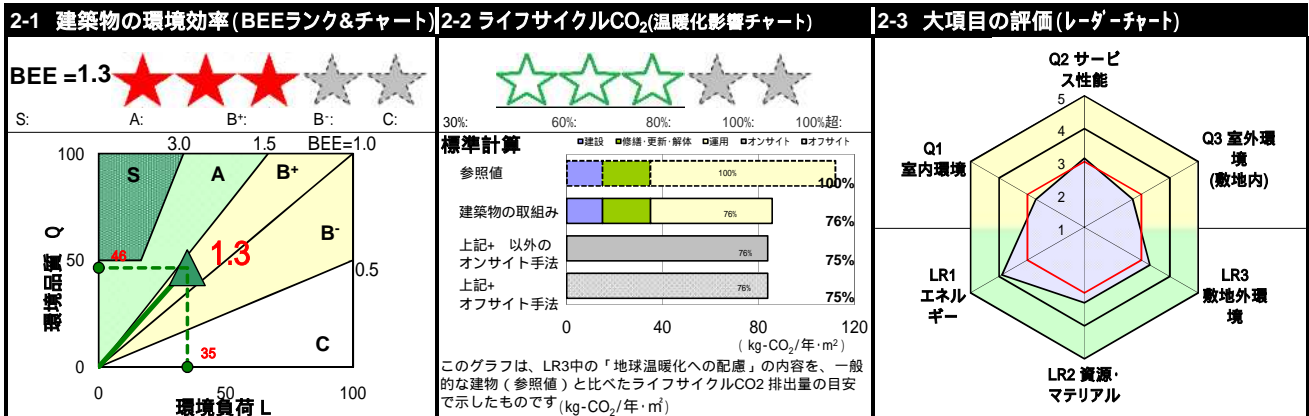


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	六会市民センター	階数	地上3F
建設地	藤沢市亀井野四丁目8-1,8-2,8-3	構造	RC造
用途地域	準住居地域・1低層	平均居住人員	70人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2014年3月8日
敷地面積	4,072 m ²	作成者	(株)アルファス計画事務所
建築面積	1,127 m ²	確認日	2014年3月10日
延床面積	2,946 m ²	確認者	(株)アルファス計画事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合 第一種低層住居地域に位置する建物なので日影等厳しく制限されましたが、周辺との隔離を取り高さを抑えることにより、周辺との景観から違和感のないほど良い空間づくりと環境配慮を心がけた。		その他 今回の増築に当たり植栽は残さない計画でしたが、南側駐車場に巨大なケヤキがあり、あまりにもきれいな樹形を伐採するのに忍びなく、この建物のシンボルとなるべく残すこととした。
Q1 室内環境 この建物の利用者は乳幼児からお年寄りまで幅広い年代に使用されるので床の振動や壁の自然材に近いものを、天井材の吸音、遮音配慮と空調に留意した。	Q2 サービス性能 動線計画と配置計画を充分配慮することから各利用室に最短で到達でき、単純化された中廊下だけなので解り易い配置とした。ユニバーサルの適合するようにバリアフリーな設計を心がけた。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内にある巨木を残し南面に主だった部屋を配し、その巨木と同時に新たな植栽を十分楽しめるようにした。南面する駐車場には植栽ブロックを敷き詰め施設に充分な緑の確保につとめた。
LR1 エネルギー 断熱に関してはRC外壁内側に断熱材を打ち込み、気密性に富む建物にした。給水に関しては雨水を中水として利用する地下ピットを設けた。外壁に面する建具にはカーテンを設置し空調のロス低減を図った。屋上にはソーラーパネルを設けた。	LR2 資源・マテリアル 建物の材料は出来るだけ再資源化可能な材料を選び、資源の再利用化を心がけた。	LR3 敷地外環境 建物からの周辺住宅の隔離距離を十分取り、空調室外機などの騒音レベルの低減化を図った。又周囲からの景観で道沿い周囲は全て植栽を施し、植栽の中に建築が感じられるよう、緑化計画をした。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

'ライフサイクルCO₂'とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される